

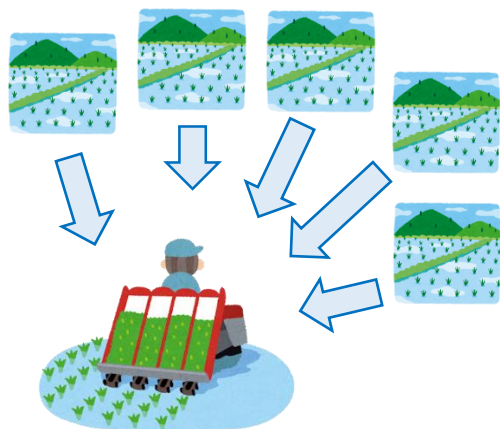
水稲移植栽培の省力化

育苗箱削減に向けた栽培技術の実施

活動年次：令和4年
対象：JA道央水稲生産部会江別支部(109戸)

石狩農業改良普及センター本所
地域第二係

1 課題設定の背景



地域担い手の高齢化、少子化



離農等により耕作地を手放す



担い手への土地集約による水田作付面積拡大



必要育苗箱数の増加

地域では...



必要育苗箱数削減のために高密度は種短期育苗栽培の導入が進み始めている



しかし、これでは対応しきれない...ところも



作付面積がどんどん広がっていくのでさらなる育苗箱数の削減をしたいなどの声も



移植時の株間を広げるだけでできる疎植栽培

2 活動の経過



農閑期

・ 稚苗栽培、密苗栽培の疎植栽培の提案



4～9月：生育巡回調査
10月：収量調査

高密度は種短期育苗のあれこれ

○稚苗栽培

乾籾で160～175gでまく。新たな設備投資を必要としない

○密苗栽培

乾籾で250～300gでまく。専用田植機を必要とする

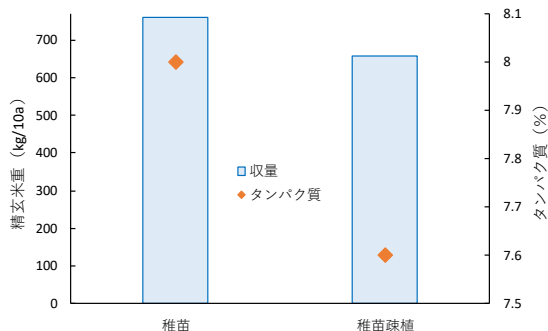


農業者、農協への報告



3 活動の成果 *****

1. 稚苗疎植栽培の導入

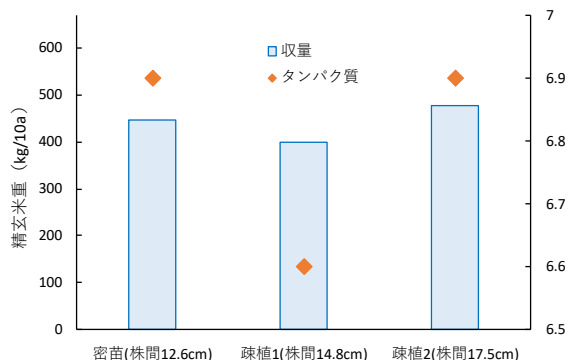


収量・品質は慣行と同程度

項目	稚苗	稚苗疎植
使用苗箱数(箱/10a)	16	10
培土費用(円/10a)	2,608	1,630
育苗箱(円/10a)	4,000	2,500
合計(円/10a)	6,608	4,130

➡ 使用苗箱数が削減されたことによって育苗にかかる経費がダウン

2. 密苗疎植栽培の導入

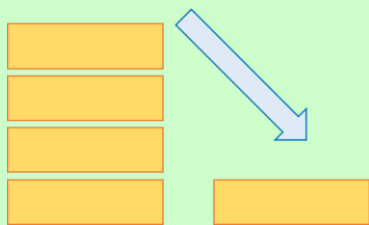


収量・品質は慣行と同程度

項目	慣行(株間12.6cm)	疎植1(株間14.8cm)	疎植2(株間17.5cm)
使用苗箱数(箱/10a)	19	15.6	13.4
培土費用(円/10a)	3,097	2,543	2,184
育苗箱(円/10a)	4,750	3,900	3,350
合計(円/10a)	7,847	6,443	5,534

➡ 使用苗箱数が削減されたことによって育苗にかかる経費がダウン

➡ これらの高密度は種短期育苗栽培における疎植栽培により



さらなる育苗苗箱数の削減が可能に



育苗経費の削減



苗補給作業の軽減

4 今後の活動 *****

・ 疎植栽培による注意点を提示しながら普及を図る

→ 生育期節が慣行より遅れやすい

収量は同程度かやや劣る

タンパク質含有率は高くなりやすい

